

# 平成23年度病害虫発生予察注意報第6号

平成23年11月7日  
愛 知 県

作物名：ナス（施設）

病害虫名：ミナミキイロアザミウマ

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多い

3 注意報発令の根拠

(1) 10月下旬の巡回調査の結果、ナスにおけるミナミキイロアザミウマの寄生葉率が9.28%（平成22年2.66%、平成21年5.37%）、発生ほ場率が72.2%（平成22年36.5%、平成21年65.0%）で、いずれも過去10年のデータと比較して最も高かった。

(2) 平成23年11月4日発表の名古屋地方気象台1か月予報では、向こう1か月の気温は高い確率60%と予想されており、今後ミナミキイロアザミウマの増殖に好適な条件が続くと思われる。

4 防除上注意すべき事項

(1) 青色の粘着板などを利用して本種の発生状況をよく観察し、早期発見に努める。

(2) 本種は各種農薬に対する感受性が低くなっている場合があるため、農薬の選定にあたっては下表を参考にする。

(3) 天敵や訪花昆虫を導入しているほ場では、それらへの影響に注意して薬剤を選定する。

(4) 農薬の散布にあたっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ

電話：0561-62-0085（内線471）

表 ナス・ミナミキイロアザミウマに対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	希釈倍数	使用回数
プレオフロアブル	収穫前日まで	1,000倍	4回以内
ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2,000倍	3回以内
アフーム乳剤	収穫前日まで	2,000倍	2回以内
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2,000倍	2回以内
ハチハチ乳剤	収穫前日まで	1,000～2,000倍	2回以内
ボタニガードES（微生物農薬）	発生初期	500～1,000倍	—